

活動報告

「わたし」はだれ？



まずは鏡(かがみ)を見ながら、じぶんの顔(かお)をかきよ！どんな顔にしようかなあ…



展示室(てんじつ)に行って、いろんな人の絵や、彫刻(ちようこく)を見たよ。写真(しゃしん)みたいに本物そっくりな絵や、小さな点があつまって、人の形になった絵なんかがあったよ。



今度は、二人で一組になって、おたがいの顔をかいたよ。ちょっとはずかしかったけど、一生懸命(いっしょうけんめい)かいて、絵をこうかんしたよ。



写真にうつった自分、自分が描いた自分、おともだちが描いてくれた自分、どれがいちばん自分らしいかな？

保護者の方へ

今回の鑑賞ワークショップ「わたしはだれ？」では、「わたし」(自分)の表現について考える活動を行いました。

まず、一人一人写真を撮ります。紛れもない現在の自分の姿です。つぎに、鏡を見ながら、自画像を描いてもらいます。いきなり絵を描くことにとまどう子がいるかもしれないと少々心配していたのですが、それは全くの杞憂におわりました。実に自由に、のびのびと、そして素直に自分の顔を表現してくれました。

自画像を描き終わったら、今度は展覧会を鑑賞します。現在開催中のコレクション展「人に挑む」は、人物の表現をテーマにした展覧会です。自画像、モデルを描いたもの、家族をテーマにしたもの、絵画、彫刻、写真など、あらゆる作品を見ながら、対話し、作品を味わいました。

最後は、二人一組になってのデッサンです。美術館で初めて会ったお友だちと、交互にモデルを務め、お互いを描きます。恥じらったり、遠慮したりするかとも思いましたが、さすがに子ども同士、すぐにうち解け、そしてお互い競い合うように、見事に特徴を捉えた絵を完成させました。そして、自分の写真、自画像、お友だちが描いた自分の絵を並べて鑑賞会をし、「本当の自分」について考えました。今回は保護者の方も参加され、大変楽しかったとの感想をいただきました。小学生以上で募集しているプログラムは大人も参加できますので、お子様と一緒にぜひ参加してみてくださいね。

[* 教育普及のページに戻る *](#)

Copyright Kure Municipal Museum of Art all rights reserved.